

開講科目名 / Course	災害看護論	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 後期	
開講区分 / semester offered	後期	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	石田 佳代子	
担当教員名 / Instructor	石田 佳代子、福田 広美、松 久美、内倉 佑介	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	本講義では、地域や病院等における災害看護のあり方、考え方とその実際を学ぶ。これらの学習を通して、地域や病院等における健康危機管理と災害に対する防災・減災および災害時の対応について理解する。また、演習を通して災害時に必要な看護技術を習得する。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害看護の基礎となる健康危機管理、災害の歴史、定義、種類、法律、制度について述べることができる。 2. 災害サイクル各期における特徴と健康問題、災害看護の役割と活動を述べるができる。 3. トリアージ（一次トリアージ：START法）を実施することができる。 	
DPとの対応	1.確かな看護の力・技術力、2.看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. 災害及び災害看護に関する基礎的知識（石田） 02. 災害サイクルと看護活動：超急性期～急性期（石田） 03. 災害サイクルと看護活動：亜急性期～慢性期（石田） 04. 病院における災害看護（福田） 05. 災害に関する法律と制度（石田） 06. 災害時における医療活動の実際：避難所における看護活動（石田） 07. 災害時における医療活動の実際：DMAT活動（松） 08. 災害時における医療活動の実際：トリアージ（松） 09. 災害時に必要な看護技術：演習（1）トリアージ（START法）、情報伝達訓練（全員） 10. 災害時に必要な看護技術：演習（2）机上訓練（全員） 	
その他の授業の工夫	実際の災害現場での活動経験が豊富な講師が演習を進行する。トリアージ・シミュレーション訓練、情報伝達訓練、机上訓練などの体験型学習を中心に行う。	
時間外学修	講義終了後にテキストの該当部分や配布資料に基づき、関連事項を整理し、理解すること。	
評価方法と評価割合	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート（各教員が課題を提示する）により評価する。（参加できなかった場合には、その回の教員に至急連絡して指示を受けること。）（100%） ・出席状況（参加態度）を重視する。（トリアージ等演習には必ず参加すること。欠席2回以上で成績評価レベルを一段階下げる。欠席4回以上で評価対象外とする。） 	
テキスト	看護学テキストNice災害看護（改訂第3版）（南江堂）	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	石田佳代子：災害支援ナース、病院の看護師 福田広美：病院の看護師 松久美：日本DMAT、病院の看護師 内倉佑介：病院の看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	国内の災害時にDMATや災害支援ナースとして被災地で医療活動を行った経験を活かした事例場面を取り上げ、その実際について解説する。また、各教員のスキルを活かした実践的な演習指導を行う。	